



平成23年1月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年9月1日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社 サガミチェーン

コード番号 9900 URL <http://www.sagami.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小塚 照男

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部担当 (氏名) 伊藤 修二

TEL 052-771-2126

四半期報告書提出予定日 平成22年9月2日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年1月期第2四半期の連結業績(平成22年1月21日～平成22年7月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|--------|-------|------|---|------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 23年1月期第2四半期 | 9,626 | △12.0 | △359 | — | △325 | — | △980 | — |
| 22年1月期第2四半期 | 10,942 | — | △377 | — | △354 | — | △1,402 | — |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年1月期第2四半期 | △40.22 | — |
| 22年1月期第2四半期 | △57.51 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 23年1月期第2四半期 | 16,547 | 10,391 | 62.7 | 425.54 |
| 22年1月期 | 17,049 | 11,519 | 67.5 | 471.77 |

(参考) 自己資本 23年1月期第2四半期 10,376百万円 22年1月期 11,504百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|----------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 22年1月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 23年1月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 23年1月期 (予想) | — | — | — | 0.00 | 0.00 |

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年1月期の連結業績予想(平成22年1月21日～平成23年1月20日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|--------|------|------|---|------|---|-------|---|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 20,250 | △8.9 | 0 | — | 30 | — | △890 | — | △36.48 |

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 有

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 23年1月期2Q | 24,972,784株 | 22年1月期 | 24,972,784株 |
| ② 期末自己株式数 | 23年1月期2Q | 587,868株 | 22年1月期 | 586,697株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 23年1月期2Q | 24,385,399株 | 22年1月期2Q | 24,391,489株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|----------------------------|----|
| 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 2 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 2 |
| 2. その他の情報 | 4 |
| (1) 重要な子会社の異動の概要 | 4 |
| (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 | 4 |
| (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 | 4 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書 | 7 |
| 【第2四半期連結累計期間】 | 7 |
| 【第2四半期連結会計期間】 | 8 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 9 |
| (4) 継続企業の前提に関する注記 | 11 |
| (5) セグメント情報 | 11 |
| (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 11 |

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策や新興国向け輸出の拡大等により、緩やかではありますが、景気回復基調となりました。一方、国内消費におきましては所定外労働時間の増加等により勤め先収入は改善しているものの、消費支出に回復の兆しは見られず依然低迷が続いております。

外食産業におきましては、生活防衛意識を背景に外食機会や外食動機は冷え込んでおり、引き続き厳しい環境となりました。また、お客様の低価格志向は定着しており、業界全体で価格競争の様相を呈しております。

このような環境のもと、当社グループは、劇的に変化する環境に対応すべく中期経営計画を策定し「お客様の支持と利益の最大化」をテーマに「①サガミ業態の再構築」「②業態ポートフォリオの見直し」「③経営基盤の強化」を積極的に取り組んでまいりました。

主力の和食麺類部門では、前期に引き続き経費削減計画を策定し、固定経費を削減する一方、全社販売促進企画「創業40周年 夏の大感謝祭」「初夏の大感謝祭」等を実施いたしました。また、麺と素材の組み合わせをテーマにしたメニュー政策に加え、「天然 厳選素材 三河湾産あなご」「素材厳選 初夏のおもてなし」等の料理フェアを実施いたしました。さらに、ご家族のハレの場でご利用して頂けるよう「母の日御膳」「父の日御膳」も販売いたしました。しかしながら、食の内部化や外食離れ等の影響により、既存店売上高は前年同期比 4.1%減、既存店客数は前年同期比 1.5%減となりました。

店舗関係では、業態転換のため3店舗（半田店、川越店、三好店）を閉鎖いたしました。セルフサービス方式のうどん庵部門におきましては、全店販売促進企画「うどん庵祭り」を3回実施し、新規出店を1店舗（稲沢平和町店）、閉鎖を5店舗（ピアゴ大曾根店、四日市松原店他）行いました。

その他の部門では新業態として、うどんを主体とした大型セルフ店「製麺大学」を開発し3店舗を出店したのに加え、中国上海市で展開する盛賀美1店舗、フランチャイジーの試験店2店舗を開店いたしました。また、あいそ家3店舗の業態転換も行いました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高 9,626百万円（前年同期比 12.0%減）となりました。経費削減計画等により、販売費及び一般管理費を前年同期比 982百万円削減いたしました。既存店売上高が前年を下回ったこと等により、営業損失は 359百万円（前年同期は377百万円の営業損失）、経常損失は 325百万円（前年同期は 354百万円の経常損失）を計上することとなりました。また、減損損失等により特別損失を 688百万円計上したことにより 980百万円の四半期純損失（前年同期は1,402百万円の四半期純損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(財政状態)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、16,547百万円と前連結会計年度末比502百万円の減少となりました。流動資産は前連結会計年度末比250百万円減少し3,146百万円、固定資産は251百万円減少し13,401百万円、流動負債は前連結会計年度末比1,282百万円減少し2,942百万円、固定負債は1,908百万円増加し3,213百万円、純資産は1,128百万円減少し10,391百万円となりました。

(キャッシュ・フロー)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べて8百万円減少し、2,624百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は477百万円となりました。支出の主な内訳は税金等調整前四半期純損失が915百万円、法人税等の支払額が79百万円であり、収入の主な内訳は減損損失が373百万円、資産除去債務会計基準適用による影響額が268百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は326百万円となりました。支出の主な内訳は有形固定資産の取得による支出が437百万円、店舗撤去による支出が189百万円であり、収入の主な内訳は有価証券の償還による収入が200百万円、差入保証金の回収による収入が59百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は802百万円となりました。収入の主な内訳は長期借入による収入が2,000百万円、短期借入金の純増額が30百万円であり、支出の主な内訳は社債の償還による支出が1,000百万円、長期借入金の返済による支出が220百万円であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、第2四半期連結累計期間の実績及び直近の趨勢を勘案したうえで、平成22年3月4日に公表いたしました、平成23年1月期（平成22年1月21日～平成23年1月20日）の業績予想数値を8月23日に修正いたしました。

売上高につきましては、主力業態サガミの既存店売上高を前年同期比 3.1%減で見込んでいる事に加

え、前期末に閉鎖した店舗の売上高が減少するため、前年同期比 8.9%減の20,250百万円を計画しております。売上原価率は前年同期比 0.1%ポイント低下の31.2%を見込み、販管費におきましては、前期末の店舗閉鎖による経費減額や経費削減計画の効果を見込み前年同期比 1,784百万円減額の13,930百万円を計画しております。

これにより、営業利益は前年同期比 453百万円増益の0百万円、経常利益では前年同期比 456百万円増益の30百万円を計画しております。なお、当期純利益におきましては、減損損失等による特別損失を920百万円見込むことから、890百万円の当期純損失を見込んでおります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の概要

① 固定資産の減価償却費の算定方法

国内連結子会社においては、定率法を採用している資産について、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法によっております。

② 経過勘定項目の算定方法

国内連結子会社においては、一部の経過勘定項目の算定について、合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。

- ・四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理
該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

- ・資産除去債務に関する会計基準の適用

「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）が、平成22年3月31日以前に開始する連結会計年度から適用できることとなったことに伴い、第1四半期連結会計期間から、同会計基準及び同適用指針を適用しております。

これにより、営業損失、経常損失が5,130千円増加し、税金等調整前四半期純損失が275,760千円増加しております。また、これらの会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は306,113千円であります。

- ・表示方法の変更

四半期連結キャッシュフロー関係

前第2四半期連結累計期間において、「投資活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めて表示しておりました「店舗撤去による支出」は重要性が増加したため、第1四半期連結会計期間より区分掲記することといたしました。なお、前第2四半期連結累計期間の「投資活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含まれる「店舗撤去による支出」は20,627千円であります。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 当第2四半期連結会計期間末 (平成22年7月20日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年1月20日) |
|---------------|-------------------------------|--|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,433,639 | 2,542,036 |
| 受取手形及び売掛金 | 68,188 | 79,042 |
| 有価証券 | 221,284 | 371,503 |
| 商品及び製品 | 76,533 | 75,011 |
| 原材料及び貯蔵品 | 163,999 | 145,874 |
| その他 | 182,485 | 183,649 |
| 貸倒引当金 | △15 | △11 |
| 流動資産合計 | 3,146,115 | 3,397,105 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 2,673,622 | 2,905,963 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 290,773 | 323,516 |
| 土地 | 6,436,499 | 6,436,519 |
| その他(純額) | 259,681 | 99,233 |
| 有形固定資産合計 | 9,660,577 | 9,765,233 |
| 無形固定資産 | | |
| | 154,799 | 117,600 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 1,176,871 | 1,320,292 |
| 差入保証金 | 1,823,527 | 2,107,728 |
| その他 | 596,071 | 596,751 |
| 貸倒引当金 | △10,734 | △255,312 |
| 投資その他の資産合計 | 3,585,736 | 3,769,459 |
| 固定資産合計 | 13,401,113 | 13,652,293 |
| 資産合計 | 16,547,228 | 17,049,399 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 547,232 | 621,324 |
| 短期借入金 | 430,000 | 400,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 486,360 | 326,000 |
| 1年内償還予定の社債 | — | 1,000,000 |
| 未払金 | 973,096 | 1,135,424 |
| 未払法人税等 | 81,784 | 117,990 |
| 賞与引当金 | 27,001 | 44,753 |
| 店舗閉鎖損失引当金 | 56,375 | 281,640 |
| その他 | 340,669 | 297,881 |
| 流動負債合計 | 2,942,520 | 4,225,015 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 2,486,940 | 867,800 |

(単位：千円)

| | 当第2四半期連結会計期間末 (平成22年7月20日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年1月20日) |
|--------------|-------------------------------|--|
| 長期末払金 | 209,047 | 281,583 |
| 退職給付引当金 | 7,707 | 7,802 |
| 資産除去債務 | 306,113 | — |
| その他 | 203,555 | 147,757 |
| 固定負債合計 | 3,213,364 | 1,304,943 |
| 負債合計 | 6,155,885 | 5,529,959 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 6,303,521 | 6,303,521 |
| 資本剰余金 | 7,256,905 | 7,256,905 |
| 利益剰余金 | △2,503,885 | △1,523,058 |
| 自己株式 | △565,550 | △564,900 |
| 株主資本合計 | 10,490,990 | 11,472,467 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △90,528 | 50,286 |
| 為替換算調整勘定 | △23,802 | △18,011 |
| 評価・換算差額等合計 | △114,331 | 32,274 |
| 少数株主持分 | 14,683 | 14,697 |
| 純資産合計 | 10,391,342 | 11,519,439 |
| 負債純資産合計 | 16,547,228 | 17,049,399 |

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成21年1月21日 至平成21年7月20日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成22年1月21日 至平成22年7月20日) |
|---------------------|--|--|
| 売上高 | 10,942,600 | 9,626,859 |
| 売上原価 | 3,419,101 | 3,067,849 |
| 売上総利益 | 7,523,499 | 6,559,010 |
| 販売費及び一般管理費 | 7,900,570 | 6,918,197 |
| 営業損失(△) | △377,071 | △359,187 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 9,894 | 6,306 |
| 受取配当金 | 12,816 | 13,705 |
| 受取保険金 | 5,967 | 9,652 |
| 助成金収入 | — | 18,885 |
| 雑収入 | 15,324 | 21,115 |
| 営業外収益合計 | 44,003 | 69,665 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 16,424 | 18,436 |
| 雑損失 | 5,076 | 17,229 |
| 営業外費用合計 | 21,500 | 35,666 |
| 経常損失(△) | △354,568 | △325,188 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 4,863 | 6,479 |
| 貸倒引当金戻入額 | 1,591 | 26,871 |
| 店舗閉鎖損失引当金戻入額 | — | 39,605 |
| 事業譲渡益 | — | 16,190 |
| 受取保険金 | — | 9,000 |
| その他 | 800 | 188 |
| 特別利益合計 | 7,254 | 98,335 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | — | 5,969 |
| 固定資産除却損 | 22,237 | 22,854 |
| 投資有価証券売却損 | 630 | — |
| 減損損失 | 732,155 | 373,833 |
| 店舗閉鎖損失 | 76,804 | 16,069 |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | — | 268,532 |
| その他 | 6,392 | 1,088 |
| 特別損失合計 | 838,219 | 688,347 |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △1,185,533 | △915,201 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 53,677 | 46,006 |
| 法人税等調整額 | 163,528 | 19,225 |
| 法人税等合計 | 217,205 | 65,231 |
| 少数株主利益 | 5 | 394 |
| 四半期純損失(△) | △1,402,745 | △980,827 |

【第2四半期連結会計期間】

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結会計期間 (自平成21年4月21日 至平成21年7月20日) | 当第2四半期連結会計期間 (自平成22年4月21日 至平成22年7月20日) |
|-----------------|--|--|
| 売上高 | 5,509,912 | 4,938,030 |
| 売上原価 | 1,700,483 | 1,571,184 |
| 売上総利益 | 3,809,428 | 3,366,846 |
| 販売費及び一般管理費 | 3,900,382 | 3,498,984 |
| 営業損失(△) | △90,953 | △132,137 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 5,660 | 3,815 |
| 受取配当金 | 11,084 | 12,315 |
| 受取保険金 | 4,763 | 706 |
| 雑収入 | 7,557 | 7,101 |
| 営業外収益合計 | 29,065 | 23,937 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 8,047 | 11,160 |
| 雑損失 | 1,515 | 9,839 |
| 営業外費用合計 | 9,562 | 21,000 |
| 経常損失(△) | △71,451 | △129,200 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 37 | 274 |
| 貸倒引当金戻入額 | 733 | 1,118 |
| 店舗閉鎖損失引当金戻入額 | — | 17,022 |
| 事業譲渡益 | — | 7,619 |
| 受取保険金 | — | 9,000 |
| その他 | — | 188 |
| 特別利益合計 | 770 | 35,222 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | — | 1,251 |
| 固定資産除却損 | 13,241 | 8,975 |
| 投資有価証券売却損 | 630 | — |
| 投資有価証券評価損 | △19,227 | — |
| 減損損失 | 728,902 | 371,219 |
| 店舗閉鎖損失 | 12,753 | 1,000 |
| その他 | 6,392 | 1,088 |
| 特別損失合計 | 742,692 | 383,535 |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △813,373 | △477,513 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 22,465 | 22,576 |
| 法人税等調整額 | 164,289 | △3,011 |
| 法人税等合計 | 186,755 | 19,565 |
| 少数株主利益 | △64 | 263 |
| 四半期純損失(△) | △1,000,064 | △497,342 |

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成21年1月21日 至平成21年7月20日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成22年1月21日 至平成22年7月20日) |
|-------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △1,185,533 | △915,201 |
| 減価償却費 | 287,238 | 258,200 |
| 減損損失 | 732,155 | 373,833 |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | — | 268,532 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | △1,585 | △24,583 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | △1,605 | △17,752 |
| 店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少) | — | △36,075 |
| 受取利息及び受取配当金 | △22,711 | △20,012 |
| 支払利息 | 16,424 | 18,436 |
| 固定資産売却損益(△は益) | △4,863 | △510 |
| 固定資産除却損 | 22,237 | 22,854 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 3,822 | 10,853 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △13,504 | △19,646 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △105,464 | △74,092 |
| 未払金の増減額(△は減少) | △69,191 | △169,573 |
| その他 | 41,640 | △20,723 |
| 小計 | △300,941 | △345,459 |
| 役員退職慰労金の支払額 | △82,100 | △51,910 |
| 利息及び配当金の受取額 | 21,228 | 18,834 |
| 利息の支払額 | △15,994 | △19,210 |
| 法人税等の支払額 | △57,434 | △79,897 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △435,241 | △477,642 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △150,668 | — |
| 定期預金の払戻による収入 | 110,020 | — |
| 有価証券の償還による収入 | 100,000 | 200,000 |
| 有価証券の売却による収入 | — | 50,250 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △307,448 | △437,119 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 9,704 | 11,221 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △117,186 | △1 |
| 投資有価証券の償還による収入 | 100,000 | — |
| 投資有価証券の売却による収入 | 11,830 | 231 |
| 差入保証金の差入による支出 | △14,676 | △32,807 |
| 差入保証金の回収による収入 | 70,424 | 59,952 |
| 店舗撤去による支出 | — | △189,190 |
| その他 | 7,778 | 10,751 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △180,222 | △326,712 |

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成21年1月21日 至平成21年7月20日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成22年1月21日 至平成22年7月20日) |
|----------------------|--|--|
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | 50,000 | 30,000 |
| 長期借入れによる収入 | — | 2,000,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △251,508 | △220,500 |
| 社債の償還による支出 | △10,000 | △1,000,000 |
| 自己株式の取得による支出 | △7,142 | △649 |
| リース債務の返済による支出 | — | △6,336 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △218,650 | 802,513 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 10,483 | △6,366 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △823,631 | △8,208 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 3,773,711 | 2,633,132 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 2,950,079 | 2,624,924 |

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。